

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート  新規  継続

( 事務・繰出金 組織運営 管理用)

## I 基本事項

		整理番号		1184	
事業名	沼島教職員住宅管理費		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	教育総務課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3017			項	中学校費・3項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	学校管理費・1目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり_			
	まちづくりの目標	一人ひとりが明日を拓くリーダー【教育】			
	施策目標	子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能力を身につける機会を提供する			
該当する事業について「 」を選択		事務繰出	組織運営	管理	

## II Plan (計画・事務内容)

事務又は管理の内容	目的	対象(誰を・どのような状況の人を) 沼島の小中学校に勤務している教職員。 対象人数(人) 26
	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	沼島の小中学校へ勤務する教職員は、車で土生港まで運転し、定期船にて通勤しなければならない、通勤時間が長く、身体的疲労も多くあったため、教員住宅を建設し通勤の負担軽減をはかり、より一層学校教育に精励することを目的とする。
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 現在は、荒天時に沼島汽船が欠航、及び欠航の恐れがある場合に利用している。また、学校行事等で沼島汽船の最終便に乗船できない場合も利用している。 【施設の現状】 鉄骨2階建 延床面積305㎡ 定員16名(対象者26名) 利用実績 平成19年度 小学校18日55人、中学校24日101人 平成20年度 小学校17日73人、中学校21日91人 特記事項 小中学校の教諭の負担 1,500円/月×12月×16人(定員)=288,000円 施設設備 共同炊事場、食堂、便所、風呂有。16室(ただし、冷暖房完備なし)
	事務又は管理の内容	(具体的に実施した事務又は管理の内容など) 事務及び管理等については、沼島小中学校の職員が交互に行っている。
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)	
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧南淡町沼島教員住宅の設置及び管理に関する規則を基に南あわじ市に引継ぐ。	

## Ⅲ Do (活動内容、投入資源・コスト)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	277	105	161	823	823
	施設修繕料	242	80	100	800	800
	建物損害保険料	10	10	10	10	10
	受水槽保守点検及び清掃委託料	25	15	15	13	13
	電話料金			36		
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他	288	288	288	288	288
	一般財源[A]	11	183	127	535	535
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
	年間経費([A]+[B])	11	183	127	535	535
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	423.1	7,038.5	4,884.6	20,576.9	20,576.9	
経費に関する 補足説明	財源のその他は、部屋貸付収入である。					

## Ⅳ Check (事業の自己評価・一次評価、コスト分析)

		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
事務 又は 管理 経費	直接事業費対前年度比	%	-	37.9	153.3	511.2	100.0
	(事務又は管理経費に係る問題点・課題等) 今後施設の老朽化により毎年維持管理費用が必要であると考えます。また、空調機器が整備されていないため、夏場に利用するには、環境が悪く改善する必要がある。						自己 点 評 価  (5 点 評 価)
						5	
人 件 費	人件費対前年度比	%	-	-	-	-	-
	(人件費に係る問題点・課題等)						自己 点 評 価  (5 点 評 価)
						5	
総 合 評 価	自己評価をふまえた現状分析						
	<p>沼島小中学校の職員の通勤には、航路の利用が不可欠であるため、気象条件及び運行時間等により突発的に宿泊しなければならない場合が起こり得ることから、現状では本施設は沼島小中学校を適正に運営するうえで必要な施設であると考えます。</p> <p>ただし、今後、老朽化により施設が利用に耐えなくなった場合を想定し、今後の施設のあり方や代替案について検討しておく必要がある。</p>						
						評価グラフ	
						<p>直接事務費: 5 組織運営: 5</p>	

## V Action&amp;Plan (改善の内容)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 業務改善 <input type="checkbox"/> 人員配置の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 業務改善 <input type="checkbox"/> 人員配置の見直し
	平成22年度も現行のとおり管理運営していく。	今後の施設のあり方については、学校等適正規模及び教育施設検討委員会などから提言等を頂いてた上で検討することとしている。
具体的な改善方法 (現状維持以外の場合)	事務又は管理経費に関すること	事務又は管理経費に関すること
	人件費に関すること	人件費に関すること